

第76回岐阜大学経営協議会 議事要旨

- 1 日 時 平成28年3月30日（水）13時00分～15時00分
- 2 場 所 岐阜大学本部大会議室
- 3 出席者 森脇（議長）、稲垣、碓井、岡本、小川、佐々木、細江、山内、杉戸、江馬、福士、鈴木、横山、小倉、林、王の各委員
オブザーバー：
池谷教育学部長、清島医学系研究科長、六郷工学部長、
福井応用生物科学部長、吉田監事、山田監事

4 議事要旨の確認について

第73回から第75回の経営協議会議事要旨（案）を原案どおり確認した。

5 審議事項

（1）平成28年度計画（案）について

杉戸委員から、資料1に基づき、第3期中期目標・中期計画を踏まえて、平成28年度計画（案）を策定した旨の説明があり、審議の結果、了承され、3月30日（水）開催の役員会に附議することとされた。

（2）自然科学技術研究科（仮称）の設置について

杉戸委員から、資料2に基づき、工学研究科（博士前期課程）、応用生物科学研究科（修士課程）及び医学系研究科（博士前期課程）再生医科学専攻を再編・整備した自然科学技術研究科（仮称）の設置について、教育内容、再編概要及び学生定員の移行の説明があり、審議の結果、了承された。

主な意見等は次のとおり（○：質問・意見 ●：回答）

- 組織を再編することは、総合的な教育研究を行い、将来の分野融合的な教育研究につながる可能性があるなど意義があると思うが、各研究科において、再編されない専攻はどのような扱いになるのか。
- 工学研究科及び応用生物科学研究科については、全ての専攻が自然科学技術研究科（仮称）の設置に係る再編の対象となる。なお、医学系研究科については、再生医科学専攻のみが再編の対象となり、医学系研究科は存続する。
- デザイン思考教育とは、岐阜の地場産業であるアパレル産業と関連した教育なのか。また、生命科学に関する教育は、農産物におけるTPP対策と関連した教育なのか。
- デザイン思考教育の「デザイン」とは、教育手法の「デザイン」を意味しており、衣装デザイン・工業デザイン等とは異なる。また、TPP対策と大学による支援の関係性として、家畜衛生学を立ち上げて畜産業の支援を検討している。
- 自然科学技術研究科（仮称）の設置に伴い、再生医科学を再編させることで、ロボットが身体の一部を支援・介助する等の研究が可能となるのか。
- 研究対象として考えられる。

- 工学研究科の電気電子工学専攻は、改組後の組織において、どの専攻と関係するのか。
- 知能理工学専攻の中の知能情報学の領域に相当する。
- 自然科学技術研究科（仮称）の教育の特色であるデザイン思考教育や英語で実施するグローバル型人材教育プログラムは、本研究科に限らず岐阜大学が取り組む全ての教育において必要ではないか。
- 自然科学技術研究科（仮称）の特色ある教育を切り口として、国際展開を図っていく教育や地域産業リーダーを育成する教育へも波及させていきたいと考えている。
- 自然科学技術研究科（仮称）の設置に伴い、専攻や領域が地域産業界に浸透していくことが重要であると思われる。
- 地域産業リーダーが教育に関与することで、地域産業界との交流を図っていきたいと考えている。

（3）評価室室員候補者について

杉戸委員から、資料3に基づき、次期の評価室員候補者について説明があり、審議の結果、了承された。

（4）職員就業規則等の一部改正について

横山委員から、資料4に基づき、サテライトキャンパスの運営時間の延長及び医学部附属病院新生児集中治療部（NICU）における医師の院内24時間体制整備に伴い、職員の始業、終業及び休憩の時刻を変更するため、職員就業規則及び契約職員就業規則を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、了承され、3月30日（水）開催の役員会に附議することとされた。

次いで、江馬委員から、サテライトキャンパスの運営時間の延長に関連して、平成28年度から、サテライトキャンパスで新たな取り組みとして実施する「サテライトキャンパスDE早朝クラス」及び「岐阜大学アカデミック・クラブ」について説明があった。

（5）役員の給与について

横山委員から、資料5に基づき、平成28年4月1日付けで就任する役員の給与について、国立大学法人岐阜大学役員給与規則に則り、決定したい旨の説明があり、審議の結果、了承され、3月30日（木）開催の役員会に附議することとされた。

（6）平成28年度学内予算（案）について

横山委員から、資料6に基づき、平成28年度学内予算（案）について、予算編成の基本方針、予算編成において留意すべき事項、予算編成の骨子、予算事項別の構成、政策経費内訳、概算内示事項及び施設整備予定事業の説明があり、審議の結果、了承され、3月30日（水）開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり（○：質問・意見 ●：回答）

- 機能強化促進分について、岐阜大学が戦略的に取り組む事項として、国へ要求した予算額と内示額に差が生じているが、戦略的に取り組む事項を進める上で、不足分は学長裁量経費で対応することになるのか。
- 学長裁量経費を重点配分するほか、大学の自助努力により、戦略的に取り組む事項の遂行が可能であると考えている。
- 大学が機能強化に取り組む一方で運営費交付金が削減されているが、大学運営を進める上で、国へ発言していく必要があるのではないか。
- 国立大学を支援する議員連盟が立ち上げており、働きかけを行っている。

(7) 平成28年度資金運用方針（案）について

横山委員から、資料7に基づき、平成28年度資金運用方針（案）について、岐阜大学資金管理規程第13条に基づき定めること、並びに資金運用収益実績及び運用商品一覧について説明があり、審議の結果、了承され、3月30日（水）開催の役員会に附議することとされた。

(8) 監査室員の推薦について

議長から、資料8に基づき、次期監査室員候補者（任期：平成28年4月1日から平成30年3月31日）について説明があり、審議の結果、了承された。

6 報告事項

(1) 平成28年度岐阜大学一般入試志願者数について

江馬委員から、資料9に基づき、平成28年度岐阜大学一般入試志願状況について報告があった。

(2) 平成27年度教育職員関門評価について

横山委員から、資料10に基づき、教育職員関門評価結果について報告があり、評価対象者数、評価結果について説明があった。

主な意見等は次のとおり（○：質問・意見 ●：回答）

- 格段に優れていると評価された3名の年齢内訳を教えてください。
- 59歳が2名、53歳が1名である。

(3) 教育職員個人評価制度の見直し等について

横山委員から、資料11に基づき、現行制度との変更点として、①所属部局及び兼務先の活動を総合的に評価すること、②年度評価結果を処遇へ反映すること、③関門評価結果の処遇への反映方法の改善を行い、岐阜大学教育職員個人評価実施要項を整備した旨の説明があった。

次いで、横山委員から、外部資金に措置される間接経費等の獲得を通じた財務上の貢献が特に顕著な職員に対して報奨金を支給する国立大学法人岐阜大学報奨規程を整備した旨の説明があった。

主な意見等は次のとおり（○：質問・意見 ●：回答）

- 年度評価と関門評価の使い分けについて教えていただきたい。
- 年度評価は、1年間の貢献度を評価するものである。関門評価は、関門年齢に達する年度の教育職員について、その前年度までの6年間の貢献度を評価するものである。
- 国立大学法人岐阜大学報奨規程の整備に異論はないが、理系分野では受託研究や共同研究を獲得しやすい一方、文系分野では獲得しにくい等の差が生じるのではないか。
- 外部資金に措置される間接経費等の獲得については、理系分野・文系分野により差が生じる可能性はあるが、「財務上の貢献者」と客観的に判断することとしている。また、本制度の導入により、研究力の向上が大学経営の健全化に資することを期待している。なお、文系分野に配慮した制度として、活性化経費（人文社会系活動支援）を設けている。
- 知財収入が生じた場合の取扱いについて教えていただきたい。
- 発明者と大学で半々としている。

（4）地域循環型女性研究者育成・支援プログラムについて

林委員から、資料12に基づき、本学が代表機関となり「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」（共同実施機関：岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社）に係る①ダイバーシティ研究環境整備のための取り組み、②女性研究者の研究力向上のための取り組み、③女性研究者の上位職への積極登用に向けた取り組み等について説明があった。

7 その他

（1）医学部附属病院の経営状況について

小倉委員から、資料13に基づき、平成27年4月から平成28年2月における経営目標達成率、損益計算書、収支計算書について報告があった。

主な意見等は次のとおり（○：質問・意見 ●：回答）

- 収支が好転した原因を教えていただきたい。
- 患者数の増加が原因であると考えている。

（2）経営協議会委員について

議長から、資料14に基づき、平成28年4月1日からの次期経営協議会就任予定者について説明があった。

（3）次期役員等について

議長から、資料15に基づき、平成28年4月1日からの次期役員等就任予定者について説明があった。

（4）次期学部長等について

議長から、資料16に基づき、平成28年4月1日からの次期学部長等就任予定者について説明があった。

8 次回の開催日

次回の開催は6月7日（火）を予定している旨の説明があった。